

令和4年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

外間 雅広 議員

教育行政について

(1) 教育長の抱負について

これまでの経験を踏まえ、どのような課題に重点的に取り組んでいこうと考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

私は、これまでの観光振興や地域づくり業務などで培ってきた経験やネットワークを生かしながら、本県の将来を担う子供たちの健全な育成のための施策に、全力で取り組む所存であります。

本県では少子化が急速に進んでおりますが、子供たちが通う学校が地元にあることで、その町は元気になりますので、特色ある教育や魅力ある学校づくりを推進することで、地域活性化につなげていきたいと考えています。現在、教育委員会内において、8つの横断プロジェクトを立ち上げたところであり、今後、子供たちが地域の魅力に直接触れる「ふるさと教育の推進」や、支援を要する子供たちへの「文化・スポーツの触れ合いの場の創出」、あるいは、教育現場のイメージアップ戦略や働きがい改革を進めることによる「教員のなり手不足の解消」など、市町や民間の皆様とも手を携えながら、これらの施策を積極的に進めてまいりたいと考えております。

昨年9月議会後の幼保小連携の取組状況と、国の動向を踏まえ、今後どのように幼保小連携の取組を進めていこうとしているのか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、小学校においては、入学する子供たちの実態を把握し、きめ細かな指導や、園と一貫した教育的支援を行っているところでございます。

県教育委員会においては、今後も、こども政策局が設置するプロジェクトチームに積極的に参画し、幼保小連携の充実に向けた取組を推進してまいります。